



桜蔭会愛知支部会報  
**さくらんぼ通信**



桜蔭会愛知支部  
 2021年3月7日発行

ご挨拶

支部長 半田

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって、もう1年以上たちました。当初は、日本中がこんなに長くコロナに振り回されるとは想像もできませんでした。2020年度は、計画していた活動もできず、さくらんぼ通信のみ発行しました。お会いできない分、会員の方々の活動紹介を掲載させていただきました。きっと桜蔭会会員のみなさまの中には、いろいろな活動をされている方が多いと思います。自薦・他薦お待ちしております。さくらんぼ通信に掲載させていただきたいです。子育て・介護・仕事などでお忙しくなかなか会に参加できなくても、さくらんぼ通信を通して、交流したり情報交換できたらいいなあ・・・と、願っています。また、2020年5月開催の桜蔭会本部の総会も、地方支部会員は参加せず書面での議決参加となりました。本部は、HPの充実を図り、交流の一助としたいそうです。



**2021年度総会並びに公開講演会のご案内**



日時：2021年4月25日（日） 13:20~13:50&14:00~16:00

場所：ウインクあいち 1104号室

総会 1104号室 13:00受付開始 13:20~

2021年度総会（報告 提案 決議）

**\*現会員の方は同封の総会資料を必ずご持参ください**

公開講演会 1104号室 13:50受付開始 14:00~16:00 公開講演会

「良い油?! 悪い油?! ~あなたはどちらを摂っている?~」

講師 お茶の水女子大学副学長 藤原葉子教授

**\*講演会の詳しい内容等は、2ページをご覧ください**

お申し込みは同封の返信ハガキ又はメールで4月10日（土）までをお願いします。

**ouinkai.aichi.2020@gmail.com**

件名「講演会」/本文に「お名前・卒業年次・専攻・電話番号（緊急連絡用）・同伴者氏名」をお書きください。

\*講演会は会員以外の方も無料で参加できます。ぜひお誘いください。

\*こちらから受付完了のメールをお送りします。PC・携帯どちらの場合も受付アドレスからのメールが受け取れるように設定をお願いします。

1週間経っても受付完了メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先/桜蔭会愛知支部長 半田 TEL090-2188-3439

## 2021年度公開講演会のご案内

一般社団法人桜陰会支部公益事業助成金事業  
NPO 法人お茶の水学術事業会共催  
愛知県教育委員会後援



# 良い油!?! 悪い油!?!

# あなたは どちらを 摂っている?



### 日時

2021年

4月25日(日)

14:00~16:00

(13:50 受付開始)

「育ちざかりは油たっぷりとらなくてはねえ」  
「でも、大人は、ほどほどにしないとねえ」  
「私は、最近〇〇油にはまっているの。健康にいいらしいわ」  
「あらあ、私はダイエットで油抜きよ」  
諸説いろいろありますが…本当のところは、どうなの?  
健康な食生活のためには、どんな油を摂ればいいのか?  
専門家に聞いてみましょう。

### 講師

藤原 葉子氏

お茶の水女子大学副学長



### 場所

ウインクあいち 1104号室

(愛知県産業労働センター11階)

名古屋市中村区名駅4丁目4-38

TEL052-571-6131



### プロフィール

お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授  
同大学ヒューマンライフイノベーション研究所所長  
1997年日本栄養・食糧学会奨励賞

著書「エビデンスで差がつく食育」「食物学概論」  
「精選栄養学」「分子栄養学」「食べ物と健康」等

## 「名古屋小児がん基金」のこと

(支部長 半田)

私は、2年ほど前から「名古屋小児がん基金」の活動にかかわっています。

白血病や再生不良性貧血などの小児がんの治療は、どんどん進歩していますが、それでも事故以外で亡くなる子どもの数の一位は、小児がんです。

8年前の「ゆめちゃん募金」の新聞記事をご存じの方もいると思います。

ゆめちゃんという女の子の白血病が再発し、最新の免疫療法 CAR-T 療法をアメリカで受けるしかありませんでした。その費用は1億5千万円。多くの方の協力でやっと集めましたが、間に合わず、ゆめちゃんは旅立ちました。

「日本で治療できたら」「お金の心配をしないで治療が受けれたら」・・・名古屋大学小児科の医師たちの悔しさ、辛さ。そこから名古屋大学小児科と信州大学との共同研究が始まりました。

現在 名大小児科では、遺伝子免疫療法の CAR-T 療法の臨床研究が進み、小児がん再発患者のために実用化されるまでできています。(日本で初めてです。)

昨年日本で認可されたアメリカの製薬会社の CAR-T 療法キムリアは、1回の投与に3349万円という薬価がつき、保険適応されました。名大の方法では、100万円ほどです。

また、次世代シーケンサーというすべての遺伝子を検査することができる機械を持つ名大では、病理検査ではわからない遺伝子異常を特定し、治療方法を選ぶことができます。

(2万個の遺伝子をすべて調べることができるのは、名大だけだそうです。)

検査費用は1回20万円ほどですが、保険適応ではないため、「名古屋小児がん基金」が支援して、患者さんご家族に負担がかからないようにしています。

名大は、全国に15ある小児がん拠点病院の、症例数でも研究でもトップです。

4年前に名古屋大学小児科名誉教授小島勢二を中心に、市民からの寄付金をもとにたちあげた基金は、3つの柱で活動しています。

- 1 新規治療法・遺伝子診断などの研究開発への支援  
(いつか小児がんは、治る病気と言われるように)
- 2 保険適応外の薬など、患者家族への経済的支援  
(経済格差による医療の不平等があってはならない)
- 3 アジアの発展途上国の小児がんの子どもたちへの支援  
(進んだ医療は、世界のすべての人々の共有すべき財産だから)

多くの市民の方々からの寄付金には、それぞれの物語があり、想いが込められています。

厳しい治療に耐える子どもたちや家族への応援メッセージを読みながら、時々泣けてきます。

また、小児がんを克服し医療現場で働いている若者たちに出会ったり、今も治療しながら学んでいる学生たちの真面目な姿を見る機会があったりして、命の輝きに感動するのです。

小さな命を救おうと奮闘する医師たちの真摯な姿を見るにつけ、経済優先の今の日本の風潮をさびしく思います。そして、医療の知識はない私ですが、少しでも役に立ちたいとお手伝いしています。

「名古屋小児がん基金」でHPを検索していただくと、詳しい情報が記載されています。

## ハンガリー舞踊とハンガリー料理店

(愛知支部 大塚)

学童期にクラシックバレエを習い始め、高校時代まではバレエ中心の日々を過ごしていました。進学先候補について調べるうちに、お茶の水女子大学に舞踊を専門に学べる学科があると知りました。候補として面白いとは思ったものの、一般的な学科ではないため、イメージもぼんやりしていて、すぐには受験しようという決断には至りませんでした。今とは違って、SNS はおろかインターネットすら普及していなかった時代です。高校の進路指導室の資料や教育情報誌、会員となっていた教育情報サービスなどを利用して情報収集をしました。進路指導室にあった大学紹介ビデオでは、実際の学内の様子やゼミの様子を見ることができ、イメージが湧きました。また、教育情報サービスを通じて志望先の学科に在学中の先輩から詳細な情報を聞くことができ、徐々に入学したいという気持ちになりました。当初、進学先として女子大は全く候補に入れていなかったのですが、大学の紹介ビデオで、共学では何かと男性がリーダー、女性がサブとなりがちであるが、女子大では当然ながら全てにおいて女性がリーダーシップをとることになるという趣旨のことが語られ、確かにそれは女子大の利点だと納得したことを覚えています。

晴れて入学することができ、17 人の同期と一緒に大学生活を開始しました。舞踊教育学科では、舞踊学及び周辺領域の理論と、モダンダンス、クラシックバレエ、日本舞踊、民族舞踊などの各種舞踊、体育の各種目の実技などを専門として幅広く学びました。特に重点が置かれていたモダンダンスの経験が全くなく、球技等の一般体育が苦手だった私にとっては辛い時間もありましたが、素晴らしい先生方や仲間に囲まれた貴重なときだったと思い返されます。

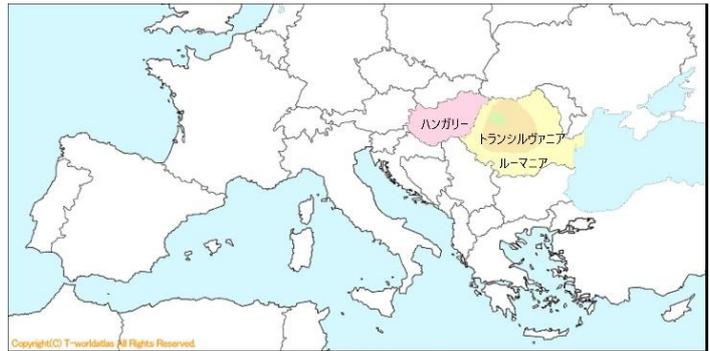


正課外の活動としては、入学前より興味を持っていた民族舞踊の活動を始めました。様々な民族舞踊を踊る中で、心惹かれたのが、ハンガリー（及び、旧ハンガリーの現ルーマニア領トランシルヴァニア）の民族／民俗舞踊でした。幼少期にハンガリー式の音楽教育を受けていたことも関係したかもしれません。興味は持ったものの卒論では扱いきれず、更に就職氷河期が到来したこともあり、修士課程に進学して、ハンガリー民俗舞踊の研究をすることにしました。ハンガリーの民俗舞踊を研究するためには、ハンガリー語の文献を読むことが必須です。修士課程入学と同時に語学学校に入学し、ハンガリー語の勉強を始めました。

短期でのハンガリー・トランシルヴァニア滞在を何度か繰り返し、後に半年間ハンガリーに滞在して舞踊の実技を学び、資料収集とフィールドワークを行って修士論文を執筆しました。修了後は更に研究対象に近づくべく、ハンガリー政府の奨学金留学生試験に挑戦してブダペストの大学で民俗学と民族学、舞踊学を学びました。ハンガリーにおいても、舞踊については大学で直接学べることは限られていましたが、第一線の研究者の近くに身を置き、将来の学界・文化界を担う若い同志たちと一緒に学ぶことができたのはかけがえのない経験です。

さて、私の研究領域であるハンガリーですが、あまり馴染みがないと思っている方もいらっしゃるかと思います。ハンガリーはヨーロッパの中央部に位置する人種島で、主にマジャル人と称する人たちが暮らしています。

ハンガリー（マジャル）人は、非常に創造性の高い民族で、私たちの身近にあるものの中にも、実はハンガリー人の発明や発見がたくさんあります。ボールペンや安全マッチ、ルービック・キューブやコンピューター、ホログラフィー、ビタミンCなど。マジャル人はアジア方面から来たといわれており、温泉好きなことや、姓名の語順、文法、五音階の使用など、日本と



の文化的な共通点もいくつかあります。最近では、テレビドラマの『逃げるは恥だが役に立つ』が、ハンガリーのことわざを引用したものととして注目されたりもしました。ハンガリー人の創造性は舞踊にも表れており、一定のスタイルの中での即興性が重視されます。特に男性舞踊では個人の技巧を見せることが重視され、男女カップルで踊る踊りでは、男性が主導権を執り、女性は瞬時に対応して踊りを組み立てます。

ハンガリーへの複数回の留学と日本での博士課程を経て、愛知県に拠点を戻して10年になろうとしています。その過程で結婚と出産も経験し、育児の傍らアルバイトや派遣社員として働きながら、在野での研究・実践活動を行ってきました。2012年には桜蔭会愛知県支部の総会でもお話をさせていただきましたので、覚えてくださっている方もいらっしゃるかもしれません。



夫はトランシルヴァニア出身の舞踊の指導者でもあり、日本全国と一緒に舞踊指導や上演、文化紹介等を行っています。私自身は約2年前に地元中小企業の社員となり、最近は舞踊上演等の頻度は低めになっています。そのような中、ご縁をいただき、地元瀬戸市で夫がトランシルヴァニア料理の店「ナトゥール・ピュフェー」を一昨年に開店しました。夫は従来トランシルヴァニアを主拠点として行き来していましたが、約2年前より愛知県を拠点としています。その前より、出身地であるトランシルヴァニアでの経験を生かして日本でできることはないかと考え、「ナトゥール農園」として化学肥料・農薬を使わない自然に近い形での野菜づくりを瀬戸市で試みていました。農協や道の

駅等で販売もしていましたが、自分で育てたこだわりの野菜を生かして、トランシルヴァニアの食文化も楽しんでもらいたいと考えて飲食店を始めるに至りました。

開店して間もなく新型コロナウイルスの流行が始まったため、困難な中での営業ではありますが、来店した方はほぼ全員気に入ってくださり、お蔭様で、定期的に訪れてくださる方もいらっしゃいます。店での舞踊・文化イベントの企画も考えていたのですが、私自身が別のフルタイムの仕事に就き、時間的余裕がなくなってしまったこと、加えて新型コロナウイルス流行の影響もあったことから、まだ実現できておりません。昨今の状況では難しい部分もあるかとは思いますが、現状では店内が密になることもほぼありませんので、機会がありましたらぜひご来店ください。店



内での飲食に抵抗がある方は、お持ち帰りもできますし、ある程度まとまった量のご注文であれば、お届けできる場合もありますので、ぜひお気軽にご相談ください。

舞踊から食文化に広がった文化研究・文化紹介を今後どのように発展させていけるのか、日々思案中です。桜蔭会愛知県支部の皆様を含む地域の皆様にも喜んでいただけ、更に自分自身も納得して楽しめる形で続けていければと思っています。

引き続きご指導・ご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ナトゥール農園 <https://www.facebook.com/naturkert>  
naturkert2015@gmail.com

ナトゥール・ビュフェー <https://www.facebook.com/naturbufe>  
naturkert2015@gmail.com  
4890814 愛知県瀬戸市末広町 3-7  
050-5372-8710

## 「板倉恵三子 ランチコンサート With 伊藤昌司」に参加して (ピリカ会メンバー 愛知支部 若松)

桜蔭会愛知支部のメンバーを中心に発足した、女性コーラスグループ「ピリカ会」を20年以上にわたり指導していただいた板倉恵三子さんのランチコンサートが、令和2年11月15日(日)に出身地静岡の「ホテルグランヒルズ静岡」で開催された。

真紅のバラのようなドレスに身を包んだ板倉さん。コンサートは二度の整形外科手術を乗り越えて、再び立ち上がるエネルギーにあふれていた。

“生まれてきたこと・生きているということ・愛してるということ”をすべての人に贈りたい”との思いで命のステージが魂を込めて繰り広げられた。

手指消毒や検温、マスク着用やアクリル板設置などあらゆる感染予防対策がなされたなか、美味しい食事も楽しんだ。コロナ禍が長引くなか、生のステージは生きるエネルギーにつながる大切なものと改めて気付かされた。

恵三子さんのどこまでも伸びやかな高音の歌声は、心の奥まで共鳴し心ゆさぶられる曲ばかりだった。またピアノの伊藤昌司さんの演奏も素晴らしく、会場全体がコンサートホールのように、素敵な音たちが舞い踊っていた。

ラストには「背すじを伸ばし、あこがれに向かって明るく咲くひまわりのような人生を生きたい」と歌われた恵三子さん。暖かい拍手に包まれ、歌い手からも聴き手からもお互いに「ありがとう」の言葉が繰り返された。

コロナ禍で活動休止しているピリカ会のメンバーとも久しぶりに再会し、楽しい時間を共有することができた。



## 「八勝館」国の重要文化財に指定される



「八勝館」といえば、愛知県の方々はほとんど知っている懐石料理の店です。

女将は、被服科卒の杉浦（旧姓小川）さんです。

2013年、桜蔭会愛知支部も、杉浦さんのご厚意により、破格の値段でランチ会をさせていただきました。

その八勝館が2020年度、国の重要文化財に指定されることになりました。八勝館は、明治初期に材木商の別荘として建てられ、大正14年から料理旅館として営業されてきました。

今回、9棟の建物と庭が重要文化財に指定されるということは、なかなかめずらしいことのようにです。特に1950年の名古屋での国体の時に昭和天皇の宿として増築された「御幸の間」は、建築家堀口捨己氏の設計による数寄屋造りの趣のある建物です。

堀口氏のモダニズムの冴える部屋で、料理を楽しむことができるのは、貴重な機会でしょう。

また、初代主人と北大路魯山人との深いつきあいから様々なエピソードもあり、魯山人の作品が多く展示と使用され、眼福ものだそうです。

「代々主人たちが大事にしてきた館が、今回指定を受けましたこと、とても喜ばしいことと思っております。料理とともに、庭、建物、雰囲気すべてを楽しんでいただきたいと思います。」と、女将の杉浦さんは、新聞のインタビューに答えられています。重要文化財指定を記念して、記念懐石料理も企画されたそうです。



同窓の仲間が、女将として、さまざまな工夫をしながら、伝統を引き継いでいかれている姿をご紹介したくて掲載させていただきました。

(文責 半田)



～～お便りテーマ「やってみたかった仕事」～～

 50年近く前になりますが、結婚して初めて住んだ広島五日市町（当時）では、毎日、川を渡って買い物に行きました。その時、もう1本下手に橋があると生活が変わるなと思い、橋を作る仕事に興味を持ちました。故郷足利の渡良瀬橋、仙台のおたまや橋、そして今住む多治見には、陶都大橋、国長橋、多治見橋があって便利です。

(愛知支部 橋本)

・次のお便りテーマは「コロナ禍で感じたこと・考えたこと・変わったこと・思うこと」です。テーマ以外のお便りも大歓迎です。お名前の記入「掲載可・不可」の○もどちらかに付けてください。



## 2021 年度会費納入のお願い



いつも会費を納入していただきありがとうございます。

桜蔭会愛知支部の活動は皆様からの支部会費によって支えられており、年度初め（4月）に納入をお願いしております。新しい年度を迎え、2021年度の会費納入のお願いとして振込用紙を同封いたしましたので、お振込みをお願いいたします。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、口座からもお振込みしていただけます。

4月の支部総会に参加される方は、当日お持ちいただいても結構です。

年会費は1,000円ですが、まとめたの入金も歓迎いたします。2021年度分を前納していただいている方には振込用紙を同封しておりません。2020年度以前の会費がまだ振り込まれていない方には、お願いの手紙も同封させていただきました。今年度の会費とあわせてのご送金をよろしくご願ひいたします。

支部規約第三条により、支部会費を五年間滞納した場合は、支部会員の資格を失うこととなりますので、よろしくご協力をお願い申し上げます。

昭和36年卒業の方は令和2020年度をもって完納となり、新年度より年会費が免除となります。ありがとうございました。

(会費会計 090-7953-8436)



## 会員異動



### ◆ご逝去

昭16年 家 佐藤 貞子さま（令和2年8月9日 ご逝去）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 『さくらんぼ通信』のメール配信について

2018年3月発行分より、ご希望の方へ、さくらんぼ通信（PDFファイル）をメール配信させていただいております。多くの方にご利用いただければと存じます。

[ouinkai.aichi.2020@gmail.com](mailto:ouinkai.aichi.2020@gmail.com) にお申込みをお願いいたします。

新規に登録をご希望の方は上記アドレス宛に

**件名： さくらんぼ通信配信申込 本文： お名前、卒業年次、専攻〈登録完了メールが届かない場合に備えて、携帯番号もお知らせくださるとありがたいです〉** をご記入の上、ご送信ください。随時、登録完了メールをお送りいたします。1か月を経ても登録完了メールが無い場合は、2020年度支部長の半田(090-2188-3439)までご連絡ください。

ご登録後は、行事の出席お申込みも、こちらのアドレスでお受けすることが可能です。締め切り日までに **件名： 行事名 本文： 必要事項（添付の返信葉書ファイル参照）** をご記入の上、ご返信ください。随時、メールにて確認させていただきます。

2019年7月発送分からメール配信ご希望の方には『さくらんぼ通信』並びに返信ハガキなどの郵送を停止しております。